



Business Report

第76期 報告書

2019年10月1日～2020年9月30日



プロセステクノロジーで未来を拓く

ホソカワミクロン 株式会社

粉体技術の開発を通して社会に貢献する

ホソカワミクロン株式会社は、大正5年(1916年)の創業以来、“粉体技術”で世界の産業に貢献することを企業理念として事業を展開してまいりました。

さまざまな粉体技術の分野における優れた製品群を峰々とし、それらを結びつけ、組み合わせるノウハウやエンジニアリングといった周辺技術をすそ野に配した雄大なホソカワの“粉体技術連峰”を形成することにより、常にグローバル・リーディングカンパニーであり続けます。

経営の基本方針

技術開発

世界のニーズは、ミリからミクロン、そしてナノへと微細化の流れを強めています。

当社はそのニーズに応えるべく、技術革新に挑戦し続け、お客様の製品開発と付加価値の向上に努めてまいります。

国際化

1950年代に海外進出を開始し、粉体技術に係る世界の企業をグループ傘下に入れることで事業を拡大してまいりました。当社製品をさらにグローバルに展開してまいります。

人材集団の形成

企業の持続的発展の根幹を担うのは人材育成であり、当社は独自の研修制度や資格制度、グループ間の人材交流を通して、グローバル企業に相応しい一騎当千の人材集団を形成してまいります。

グループ企業のシナジー効果を最大限に活かす事業運営

ホソカワミクロン

技術開発

国際化

人材集団の形成

グループ本社が直轄するフラットな組織

世界 **15**カ国、**22**社、**33**拠点



シナジー効果による
新技術の開発

製品・部品の
相互供給

最新マーケティング
情報の共有



クリックして
動画を見る

顧客満足の上に繋がる総合サービス事業の展開

クリックして
動画を見る



粉体関連事業

プラスチック 薄膜関連事業



装置販売と
エンジニアリング



受託加工



マテリアル・
化粧品

アフター
セールス

研究開発



フィルム
製造システム

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された方々にお見舞いを申し上げますとともに、医療従事者をはじめとした社会基盤を支えてくださっている方々に深く感謝いたします。

第16次中期3カ年経営計画(2017年10月～2020年9月)の最終年度であった2020年9月期の受注は、期初より堅調に推移いたしました。下半期以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響から営業活動が制限され、また、納入先での検収遅延なども発生し、売上、利益の確保に苦戦いたしました。一方で、新大阪工場やドイツのグループ会社のロジスティックセンター建設など、今後の業績拡大に向けた布石として、設備投資も進めてまいりました。

世界経済の停滞、先行きが不透明な状況の中、本年10月からの2021年度は単年度の経営計画として、より一層の経営体質強化を図り、来期2021年10月からの第17次中期3カ年経営計画の策定へとつなげてまいります。

本紙では、前中期3カ年経営計画を振り返るとともに、今後の中長期に向けた取り組みの骨子と目標達成に向けた事業戦略、本年10月に新設されました組織についてご紹介いたします。

なお配当金は従来通り、配当性向30%を目標に安定した利益配分の維持を念頭に置いており、1株当たりの配当金額の増加に努めます。フリーキャッシュフローを重視し、長期的視点に立った利益配分を行ってまいります。当方針を踏まえ、当期の1株当たりの期末配当金は55円とし、実施済みの中間配当金55円と合わせて年間110円とさせていただきます。

株主の皆様には、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 兼 社長
代表執行役員

細川 悦男

当期業績(2020年度)

	売上高	営業利益
 連結	534億円	47億円
 個別	138億円	14億円

業績のポイント

粉体関連事業

日本・アジアグループ

食品、大気汚染防止用集塵装置に加え、リチウムイオン電池材料が牽引し、下半期は、IT関連業界向け(積層セラミックコンデンサなど)が好調

欧州グループ

食品、細胞培養用の培地に加え、下半期は、さまざまな分野で用いられるミネラル用途向け大型受注の獲得が業績を牽引

米国グループ

リチウムイオン電池材料、プラスチックの工場内リサイクル向けが好調



電気自動車



電子材料

プラスチック薄膜関連事業

- 米国で産業用途の単層フィルム製造装置が継続して受注好調
- 欧州および米国の双方において、ネット通販等の保護フィルムの多層化に対応し、多層フィルム製造装置の受注が堅調で、下半期には、紙おむつ向け特殊加工用フィルム製造装置などの大型案件を受注



パッケージ用フィルム

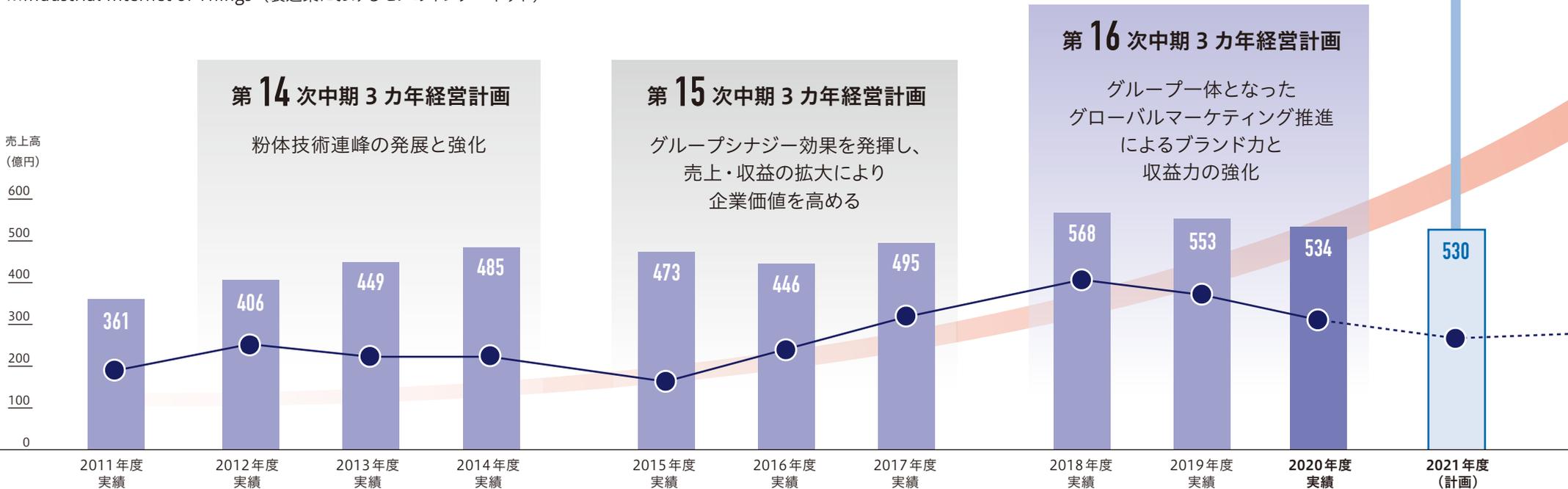


通気性フィルム

第16次中期3カ年経営計画の成果

グループ重要施策	グローバルマーケティング体制の確立によるグループシナジー効果の創出	高付加価値分野への事業展開と収益性の向上	販売子会社の強化による新興国市場へのさらなる深耕	IIoT [※] 技術の早期確立とその実用化による総合サービス事業への展開	業務プロセスの見直しによる事業運営の最適化と業務効率の改善
成果	<ul style="list-style-type: none"> 海外ユニットとの情報共有（グローバルマーケティング委員会を発足、インターネットを活用した情報の相互利用） 	<ul style="list-style-type: none"> 電池、IT、樹脂等への戦力集中 多層フィルムの需要拡大に対応したフィルム製造装置の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> タイ販社設立による東南アジアの営業強化 アルピネ ポーランド設立、合併会社SAPS社（ブラジル）による受託加工事業強化 ソリッドソリューションズ社（ドイツ・スペイン）買収によるマテリアルハンドリング分野強化 	<ul style="list-style-type: none"> HOSOKAWA GEN4[®]（IIoTを用いた生産工程の遠隔監視、生産効率向上、省電力などを実現する技術）プロジェクトの推進 	<ul style="list-style-type: none"> Hosokawa Kaizen プロジェクトによる全社改善活動 営業支援ツール導入による業務フロー改善 連結会計システムの本格運用

※Industrial Internet of Things（製造業におけるモノのインターネット）



2021年度計画(連結)

売上高 **530** 億円

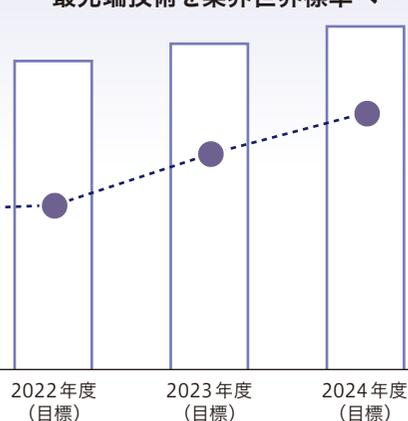
営業利益 **40** 億円

来たる第17次中期3カ年に向けた
足場固めと **経営体質強化**

第17次中期3カ年基本方針 Challenge to be Global Standard

～ホソカワミクロングループの
最先端技術を業界世界標準へ～

営業利益
(億円)



グループ基本施策

1 グローバル販売網拡大に
向けたグループ連携の強化
Reinforcement of
Group Corporation



2 デジタル革命(DX: Digital
Transformation)による
情報一元化・共有での事業促進
Centralized information by DX



3 産業分野別マーケティングと
製品開発の推進
Application Oriented
R&D



4 働き方改革と人材育成
Open & Challenge
Mind



5 ESG/SDGsへの取り組みと
社会と環境保全への
さらなる貢献
Social Contribution



目標達成のための事業戦略

粉体関連事業

装置販売

グループ会社連携により
リチウムイオン電池市場へ
グローバルに営業展開強化



アフターセールス

現地販売会社との連携をより密にし、グローバルに
受注拡大を図る

受託加工事業

各地域ごとに異なるニーズに応じた営業活動推進

マテリアル事業

新「育毛&スキンケア技術」応用による自社商品の
開発強化

プラスチック薄膜関連事業

- リサイクルが容易な単一素材や、紙おむつ向け
通気性フィルム用製造装置の受注拡大
- アジア市場の顧客基盤拡大の
ため、代理店活用・営業体制強化
- 性能向上のための装置改造
サービスに注力



2020年10月度より始動した2つの新組織、「グローバル管理本部」と「経営戦略本部」について、その本部長でもある両副社長に組織改革の目的、施策と取り組みについてお話を聞きました。

グローバル管理本部



新組織のねらい

2021年度のホソカワミクロングループの計画は、世界経済の見通しが困難なため、単年度のものとしております。その中で発足したグローバル管理本部は昨年度までの企画管理部門の機能のうち、海外ユニットの進捗管理のみにフォーカスした部署となります。当年度に関しては目標達成に重点を置き、利益・経費計画の進捗確認のため、大きく分けて欧米をマクロ視点、アジアをミクロ視点で管理してまいります。



代表取締役副社長
細川 晃平
(グローバル管理本部長)

具体的な施策とアクションについて

欧米に関しては過去の推移から損益分岐点および売上と利益の関連性を当業界に最適な形式で分析しております。そこから本年度の利益計画に与える潜在的リスクとリターンを毎月確認し、必要に応じて対応策を迅速に実行してまいります。

一方のアジアに関しては、今までは製造元会社、販売子会社ごとに個別で管理していた案件の進捗および受注予測を統一し、全グループ会社が案件一つ一つの進捗状況および受注予想を同じレベルで共有してまいります。

経営戦略本部



新組織のねらい

経営戦略本部は、企業経営環境の急速かつ劇的な変化が続く中、with コロナからafter コロナの時代を見据え、より中長期的な企業価値の向上に資することを目的に、旧・企画管理本部を発展的に解消するかたちで発足いたしました。

「粉体技術の開発を通じて社会に貢献する」という当社企業理念の具現化に向け、経営諸課題の解決のため、グローバル管理本部との連携により、グループ全社を巻き込んで取り組んでいく所存でございます。



取締役副社長
井上 鉄也
(経営戦略本部長)

具体的な施策とアクションについて

当面の課題として、① アジア新興国を中心にしたグループ一体となったマーケティング戦略の構築、② DX(Digital Transformation)の推進による情報管理の一元化と有効利用、IIoTとの融合による顧客への高付加価値情報の提供、③ ESG/SDGsの推進強化により、持続的な企業価値の向上を図ることを柱として取り組んでまいります。

また、広報・IR活動として、ステークホルダーの皆様へのタイムリーかつ分かりやすい情報発信を心がけてまいります。

社会を支えるホソカワの粉体技術

電池

二次電池正極材料：コバルト系、リン酸鉄系
コバルト系・マンガン系前駆体
二次電池負極材料：黒鉛、シリコン

車

バンパー：タルク
タイヤ：カーボンブラック、ゴム
メタリック塗料：アルミニウム粉末

トナー、磁石、電子材料

トナー：樹脂、シリカ
シリコン製造用つぼ：黒鉛
ネオジム磁石：希土類磁性材料
半導体封止剤：エポキシ樹脂、シリカ
積層セラミックコンデンサ：チタン酸バリウム

鉱物

建材：石膏、フライアッシュ、超微粉セメント、重質炭酸カルシウム
増量剤（フィラー）：軽質炭酸カルシウム、鉱石、粘土
歯科材料：セラミックス

食品

米粉、粉末茶、小麦粉、香辛料、カカオ、おから、でん粉、食物繊維、トマトペースト、増粘剤（カラギーナン）、インスタント食品（スープ、ココア）、ベビーフード、粉ミルク

医薬

注射剤：薬剤、安定剤、緩衝材
散剤（粉薬）：薬剤、賦形剤、崩壊剤
錠剤・OD錠：薬剤、賦形剤、崩壊剤、滑沢剤、被覆剤

合成樹脂

水道管：塩化ビニル(PVC) フッ素コーティング：フッ素樹脂(PTFE)
PETボトル、化学繊維、産業資材用プラスチック：ポリエステル(PET)、CO-PET、ポリアミド(PA)、ポリイミド(PI)、スーパーエンブラ(特殊PA等)

リサイクル

工場内リサイクル：フィルム両端、塩ビ窓枠、被覆銅線、廃タイヤ

超硬材料

工具：タングステンカーバイド、シリコンカーバイド

クリーンルーム

製造工場：医薬品、食品、半導体
工場、研究開発：医薬品、ナノ粒子
病院：手術室

大気汚染防止

焼却炉、ボイラー、溶融炉排ガス処理
設備：高温排ガス集じん

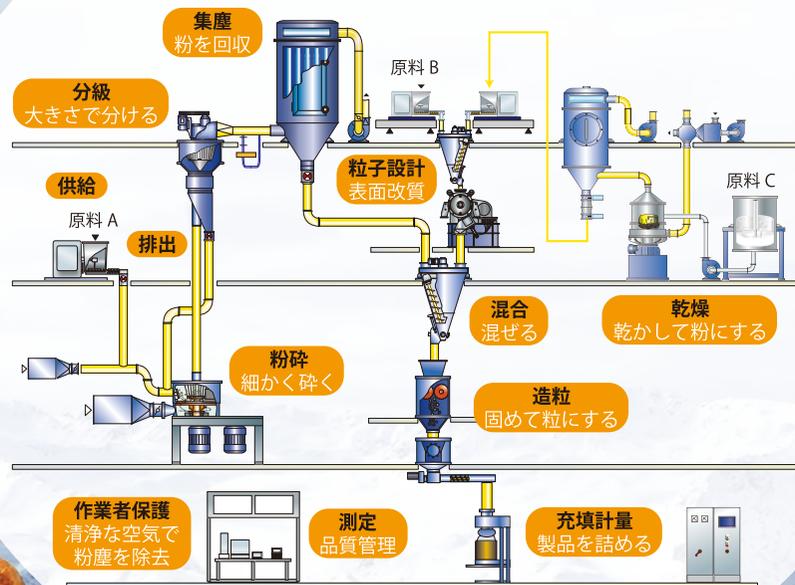
農業

農業、飼料
肥料：硫酸アンモニウム、化成肥料

化成品

難燃剤：水酸化物
紙おむつ：高吸収性樹脂(SAP)
一般化成品：リン酸塩、顔料、染料、
粉体塗料、セルロース(CMC)
化粧品：酸化チタン、酸化亜鉛、
顔料
排ガス処理薬剤：重炭酸ナトリウム

機械(ハード)+エンジニアリング(ソフト)



会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 ホソカワミクロン株式会社
 英文商号 HOSOKAWA MICRON CORPORATION
 創業 大正5年4月18日(1916年)
 設立 昭和24年8月13日(1949年)
 資本金 144億96百万円
 従業員数 366名(単体)、1,772名(連結)

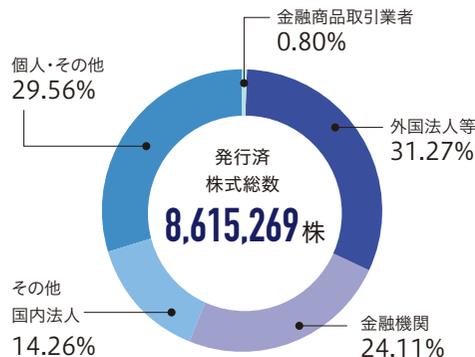
役員 (2020年12月17日現在)

代表取締役会長兼社長 細川 悦男
 代表執行役員
 代表取締役副社長 細川 晃平
 副社長執行役員
 取締役副社長 井上 鉄也
 副社長執行役員
 取締役 猪ノ木 雅裕
 常務執行役員
 取締役(社外) 秋山 聡
 取締役(社外) 高木 克彦
 取締役(社外) 藤岡 龍生
 監査役(常勤) 福井 雄二
 監査役(社外) 國分 博史
 監査役(社外) 荒尾 幸三
 常務執行役員 馬場 武史
 執行役員 塚田 義員
 執行役員 辻本 広行
 執行役員 日野 厚利
 執行役員 内田 良範
 執行役員 野原 伸介
 執行役員 矢野 浩
 執行役員 立山 栄一

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 19,869,400株
 発行済株式の総数 8,615,269株
 株主数 5,409名

所有者別株式数 (2020年9月30日現在)



(注)自己株式(522千株)は上記の個人・その他に含めています。

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
 定時株主総会 毎年12月
 基準日 定時株主総会 毎年9月30日/期末配当 毎年9月30日/中間配当 毎年3月31日
 そのほか必要なときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法 電子公告(当社ホームページに掲載いたします)
<https://www.hosokawamicron.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 0120-782-031
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社に
 お申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 ※配当金は支払開始の日から満3年(除斥期間)を経過しますと当社定款の
 定めにより、お支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

「コーポレートガバナンスに関する報告書」を当社ホームページ内の「投資家の皆様へ」のページに掲載しております。

株主優待の実施について

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々の中長期にわたり継続して当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

対象となる株主様

毎年9月30日時点の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様。

株主優待の内容

右記の通り、保有株式数、保有期間の区分に応じて、当社グループ会社の商品(シャンプー、コンディショナー、化粧品など)を贈呈いたします。

贈呈時期

12月下旬頃の発送を予定しております。

保有株式数	継続保有期間および優待内容	
	3年未満	3年以上※
100株以上500株未満	5,000円相当	7,000円相当
500株以上	10,000円相当	15,000円相当

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月末および9月末時点の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して記載された株主様といたします。

※未着時の再発送手続きは、当社ホームページ内の「投資家の皆様へ」の「株主優待」に掲載しております。



15,000円相当の商品

